

UXM/BTM : BIP-8 コード エラー

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[エラー例](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは UXM/BTM BIP-8 のコード エラーについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

このエラーは T3 および E3 バックカードとの IGX 広帯域トランク モジュール（BTM）に適用されます。

8 ビット エラー (BIP-8) のビット挿入パリティはどちらかの 8 ビット フィールド フレームのエラーを検出することができる DS3 または E3 フレーミング構造です。それは方式をチェックする偶数パリティを使用します。

DS3 PLCP フレーム

ビット挿入パリティ- (B1) BIP-8 はパス エラー モニタリングをサポートします。前の PLCP フレームの Path Overhead (POH) フィールドおよび関連する ATM セル (648 のオクテット 青で表示) で構成されている計算され、B1 オクテットで挿入されます BIP-8 は 12 x 54 オクテット 構造に。B1 の n 番目ビットは 12 x 54 オクテット 構造の 648 オクテットの n 番目ビット上の偶数パリティを提供します。

G.832/804 E3 フレーム

BIP-8 (EM) を監視するエラーは 1 バイト エラー モニタリングのために割り当てられます。この機能は偶数パリティを使用する BIP-8 コードです。前のフレームの付加ビットが含まれている BIP-8 はすべてのビットに計算されます。計算された BIP-8 は EM バイトの現在のフレームに置かれます。

[ATM およびブロードバンドなトランク](#)のブロードバンドな (ATM) トランク 形式 セクションのフレーミング構造の更に詳しい情報を読むことができます。

エラー例

黄色で強調表示されている場所は、機器のエラーが発生する可能性が高い場所です。

トラブルシューティング

ここで説明するトラブルシューティングを実行すると、運用に影響します。Maintenance ウィンドウでこれらのステップをこのような状況で実行して下さい:

- ユーザトラフィックが影響を受けていればまたは
 - エラー状態はまだ持続することを **dsptrks** が示せば、のようなトランクが Clear-OK がない時トランクの両端は解決するときアクティブである必要があります。
1. **dsptrks** コマンドを実行して、トランクがアクティブであることを検証します。トランク番号が **dsptrks** 画面に表示されていない場合、そのトランクはアクティブになっていません。トランクをアクティブにするために、**dsptrks** コマンドを発行して下さい。
 2. ローカル BTM バックカードと次のデバイス アップストリーム間のケーブル接続をチェックして下さい。通常、次のデバイス アップストリームはローカル ネットワーク終端 (NT) です。ローカルケーブル接続を BTM バックカードに接続されて残して下さい、しかし NT から取除いて下さい。適切な BNCコネクタが付いているローカル BTM バックカードにケーブルをループバックして下さい。代替として、ローカル顧客前提機器 (CPE) の方にメタリックループにローカル NT を置いて下さい。この例では、ローカル CPE はローカル BTM です。 **dsptrks** のトランクステータスが Clear-OK に変更し、**dsptrkerrs** がもはやインクレメンタル エラー、ローカルケーブルおよび BTM カード セット作業きちんと示さなければ。ステップ 3.に進んで下さい。 **clrtrkerrs** および **dsptrkerrs** コマンドを発行して下さい。 **dsptrkerrs** を数分間監視して下さい。トランクステータスが Clear-OK に変更しないかまたは IF エラーが増分し続けたらステップ 2.と続けて下さい。

3. ローカルハードウェアをチェックして下さい。BTM バックカード コネクタにケーブルをループして下さい。 **dsptrks** のトランクステータスが Clear-OK に変更すれば、そして **dsptrkerrs** がインクレメンタル エラーを示さなければ、BTM カード セットはきちんとはたります。ケーブル接続を交換して下さい。続ける前に待機少なくとも **cnftrkparm** の Red Alm Out タイマー 設定より長く 10 秒。
 4. リモート BTM バックカードと次のデバイス アップストリーム間のケーブル接続をチェックして下さい。通常、これはリモート NT です。リモート ケーブルを BTM バックカードに接続されて残して下さい、しかしリモート NT から取除いて下さい。適切な BNC ケーブルのリモート BTM バックカードにケーブルをループバックして下さい。代替として、リモート CPE の方にメタリックループにリモート NT を置いて下さい。この例では、リモート CPE はリモート BTM です。リモート トランクの **dsptrkerrs** がもはやインクレメンタル エラー、リモート ケーブルおよび BTM カード セット作業きちんと示さなければ。5 分ステップ 5.に進む前にモニタ **dsptrkerrs** のための少なくとも。
 5. Telco ループのためのリモート NT を設定して下さい。適切な BNC ケーブルを使用するこれはケーブル ループを必要とします。試験装置が利用できない場合、**dsptrkerrs** コマンドをローカル IGX で発行し、インクレメンタル エラーが発生するかどうか確認して下さい。それ以上のトランク エラーが数えられない場合、Telco回線はきちんとはたります。リモート NT Telco ループを取除き、保守するためにトランクを復元する。**dsptrkerrs** コマンドをローカル IGX で発行し、エラーが増分し続けるかどうか確認して下さい。BIP-8 エラーが続く場合、ステップ 6.に進んで下さい。
 6. 信号 強度が十分であること最大ライン の 長さが超過しなかったことを確かめれば。 設定する **cnftrk** コマンドを発行して下さい。
 7. 行をテストするために Telco を頼んで下さい。
- これらのステップを実行した後問題が持続したら、Cisco Systems Technical Assistance Center (TAC) に連絡して下さい。

関連情報

- [国際電気通信連合 \(ITU \) 勧告 G.704](#)
- [Cisco WAN スイッチング ソリューション : シスコのドキュメント](#)
- [WAN スイッチング製品のための新しい名前とカラーのガイド](#)
- [ダウンロード : WAN スイッチング ソフトウェア](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)